

「移住相談ができるお泊り施設リスト」掲載施設

移住に関わる相談ができる宿泊・滞在施設を募集しています。

4月26日(金)までに電話で実施場所は指定します。実施場所への移動や物品の運搬は各団体で行ってください。

信州安曇野ハーフマラソン実行委員会事務局(観光課)



拾ヶ堰景観形成プロジェクトメンバー

拾ヶ堰じてんしゃひろばのシバザクラの植栽や周辺の除草を一緒に行うボランティアを募集します。

4月11日(金)・令和7年3月の第2・4日曜日 朝1時間程度(季節によって開始時間は異なります)

間 拾ヶ堰景観形成プロジェクト事務局 観光課



第10回記念信州安曇野ハーフマラソン沿道応援団体

ランナーを応援し、第10回記念大会を熱く盛り上げる皆さんを募集します。

6月2日(日)

午前8時30分～正午頃

場 コース沿道各所

内 楽器の演奏や踊りによる応援▽書画などによる応援メッセージの掲示

など※内容は気軽に相談ください。

対 市内で活動する団体

「緑のカーテン広げよう」講座

琉球朝顔オーシャンブルーで作る、緑のカーテンの育て方のコツを学びます。

4月29日(月・祝)

午前10時30分～11時30分

場 市役所4階大会議室

費 500円(朝顔苗付) 定60人(先着順)

申 4月12日(金)・13日(土)の午前9時～午後5時にあづみ野風土舎へ

電話で(Tel 82・4542)

問 環境課

Tel 71・2492



あかしな農産物加工交流ひろば「えべや」の催し

■体験教室 「五ヶ用水ウオーキング」

4月20日(土) 午前10時～正午

講 幅えりさん 費 1000円

■料理教室 「おからを使ったパウンドケーキ」

4月24日(水) 午前10時～正午

講 えべやスタッフ 費 1500円

持 マスク、エプロン、三角巾

■共通事項

場 えべや 定10人(先着順)

申 3月26日(火)から「えべや」へ電話で(Tel 88・6275 月曜日を除く)

午前10時から正午)

他 子ども同伴可

問 農政課

Tel 71・2430



4月10日(水)までに左記2次元コードから、または申込書を地域づくり課へ直接・ファクス・電子メールのいずれかの方法で。申込書は同課・市HPから入手できます。

問 地域づくり課

Tel 71・2494

Fax 72・3176

chikizukuri@city.azumino.nagano.jp



烏川体験農場の会員

種まきから収穫まで体験する農場の会員を募集します。

4月～令和7年2月

場 J.Aあづみ水稲共同育苗ハウス東

内 自家用野菜の栽培▽学校給食への出荷▽野菜の育苗ほか

栽培品目 レタス・玉ねぎ・サトイモ・ジャガイモ・アスパラ・野沢菜・陸

ワサビ・ピーマン・キュウリ ほか

費 5000円

定 10人(先着順)

申 3月25日(月)から4月26日(金)にJ.Aあづみ堀金地域営農センターへ電話で(Tel 73・2519)

問 農政課

Tel 71・2429

5月～11月ごろ

場 安曇野スイス村ハイジの里周辺ほか

対 地域で活動する個人・団体・事業所



講座

手話通訳・要約筆記を希望する時は気軽に担当者へご相談ください。

日本語教室

受講者・ボランティアスタッフ

外国籍の皆さんの日本語学習を手助けする日本語教室。受講者とボランティアスタッフを募集します。

対 受講者：市内在住の外国籍の人

▽ボランティア：日本語の指導やサポートができる人(資格経験等不問)

費 無料

申 受講者は不要。ボランティアスタッフは電話で

問 生涯学習課

Tel 71・2466

教室名

日時・場所

豊科教室 Toyoshina class

日 毎週日曜日

時 10:00～12:00

場 豊科ささえあいセンターにじ

穂高教室 Hotaka class

日 毎週土曜日

時 14:00～16:00

場 穂高公民館

三郷教室 Misato class

日 毎週土曜日

時 19:00～21:00

場 三郷交流学習センターゆりのき

明科教室 Akashina class

日 毎週水曜日

時 19:00～21:00

場 明科公民館



小説『安曇野』の登場人物を知ろう！

第11回 萩原碌山と出逢い彫刻家に転向

中原 悌二郎



「出逢い」が大きなテーマの小説『安曇野』。中原悌二郎は日本近代彫刻の先駆者である萩原碌山(守衛)との出逢いを通じて、彫刻家に転向します。中村屋サロンを代表する芸術家として活躍。碌山と同じように、短命ながらも優れた彫刻作品を世に残しました。釧路に生まれた中原は、小さい頃から絵画が好きでした。道内の難関学校に進学しますが、画家への気持ちは強くなり、17歳で上京。生涯の友である洋画家の中村彝と出逢い研鑽を深めました。

1908年、画家の中村不折を邂逅と対話の安曇野紀行

碌山美術館の「若きカフカス人」

その魅力にひかれて、守衛を訪ねる青年美術家は少なかったが、悌二郎と彝は、彼らの中で最も熱烈な崇拜者であった。悌二郎などは、曾(かつ)て守衛がそうしたように、筆を捨てて、鑿(のみ)をとりとうとするけはいさえ示つつあった。

(小説『安曇野』第2部 その一より引用)

第2部冒頭は、萩原碌山が自身のアトリエで記者から取材を受けている所に、中原悌二郎と中村彝が顔を出す場面から始まります。

碌山から影響を受けた中原による「若きカフカス人」(写真)など、碌山美術館で見ることが出来ます。

1908年、画家の中村不折を邂逅と対話の安曇野紀行

碌山美術館の「若きカフカス人」

その魅力にひかれて、守衛を訪ねる青年美術家は少なかったが、悌二郎と彝は、彼らの中で最も熱烈な崇拜者であった。悌二郎などは、曾(かつ)て守衛がそうしたように、筆を捨てて、鑿(のみ)をとりとうとするけはいさえ示つつあった。

(小説『安曇野』第2部 その一より引用)

第2部冒頭は、萩原碌山が自身のアトリエで記者から取材を受けている所に、中原悌二郎と中村彝が顔を出す場面から始まります。

碌山から影響を受けた中原による「若きカフカス人」(写真)など、碌山美術館で見ることが出来ます。